



diBar

液晶 QR 対応 eTicket Series

説明書



ウェルコムデザイン株式会社

URL: www.e-welcom.com
e-mail: welcom@e-welcom.com

東京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル
TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252

神戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル

S D C 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F
TEL. 078-993-6010(代) FAX. 078-993-6020 [本部 / SDC]

(※) SDC stands for Support and Delivery Center

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1年間とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第15条補足J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（ラジオ・テレビなどの受信障害）が起こることがあります。

「その他」

- 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

安全上の注意

- ◇ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ◇ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。



使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザービームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストッパーを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気が発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機のクリーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

充電機および充電器・充電に関する注意（前項目に加え、下記の事項に注意ください）

- ✓ 付属の AC アダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ AC プラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ AC プラグや電源コードが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず 0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電機を使用しないでください。
- ✓ 充電機は、デバイスから取り外し、金属などが無い 0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電機を充電しても動作時間が短い場合は、充電機の寿命です。新しい充電機をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電機を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

INDEX

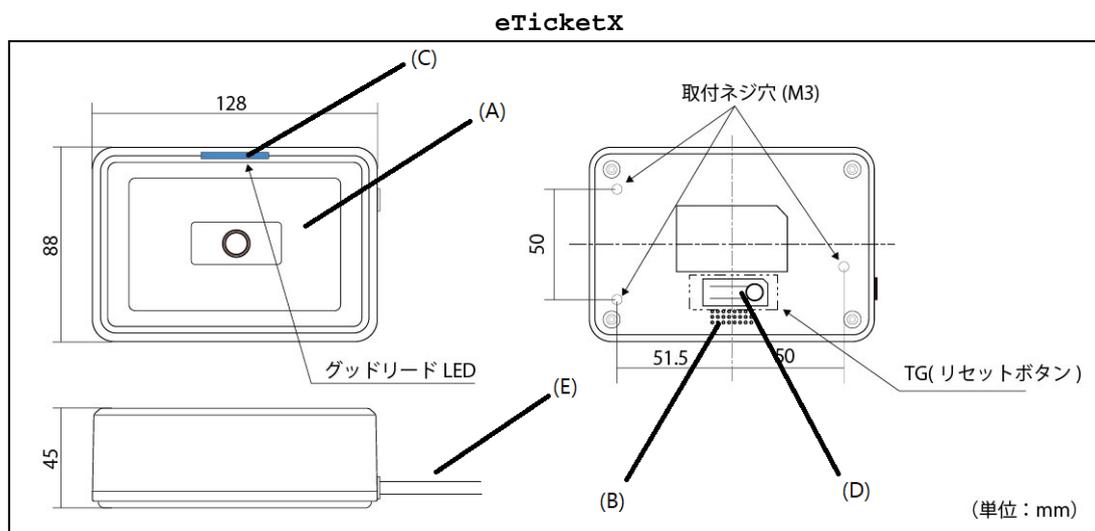
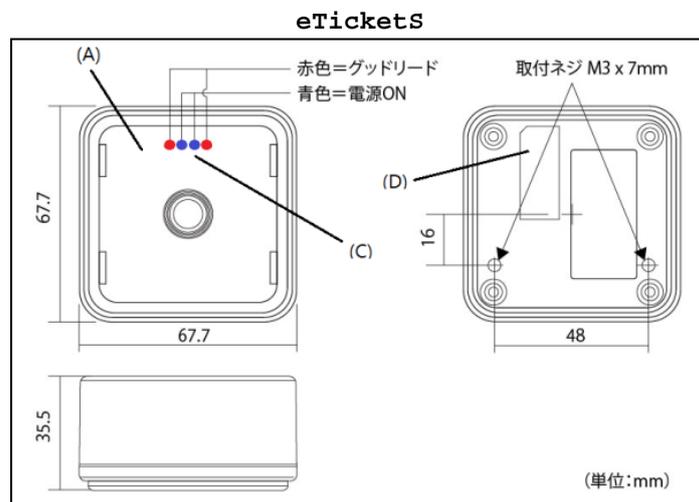
1. はじめに	6
1.1. 外形寸法と各部名称・働き	6
2. システムソフト	7
2.1. 工場出荷時デフォルト	7
2.2. ファームウェアバージョン	7
3. TTL232 インターフェイス	8
3.1. ホールレト	9
3.2. データビット/パリティ/ストップビット	10
4. USB インターフェイス	11
4.1. HID POS インターフェイス	11
4.2. USB キーボード インターフェイス (HID)	11
国別キーボード	12
大文字/小文字変換	15
4.3. USB-COM インターフェイス	16
5. 読み取り動作に関するパラメータ	17
5.1. 反転ビットモード	17
5.2. 照明ネーション (読み取り照明)	17
5.3. グットリードビット	18
5.4. グットリードビット 音色	18
5.5. グットリードビット 長	19
5.6. グットリードビット 回数	19
5.7. 読み取り遅延	20
5.8. 読み取り照合回数	21
5.9. 画像転送	21
6. データフォーマット	22
6.1. ターミナル	22
6.2. フリックス	22
6.3. サフィックス	23
6.4. 全フリックス/サフィックス消去	23
7. 読み取りコード	24
7.1. 全コード 読み取り	24
7.2. コード 128	24
7.3. JAN/EAN-8	25
7.4. JAN/EAN-13	27
7.5. UPC-E	29
7.6. UPC-A	31
7.7. インターリーブド 2/5	33
7.8. インターストリアル 2/5	34
7.9. コード 39	35
7.10. コードバース (NW7)	37
7.11. コード 93	38
7.12. GS1-128	39
7.12. MSI	39
7.14. PDF417	41
7.15. QR コード	42
7.16. Data Matrix	43
7.17. Maxi コード	43
7.18. Aztec コード	44
補足 A. ASCII コード表	45
補足 B. 16 進数コード表	46
補足 C. フリックス/サフィックス用ファンクションキー	48
補足 D. 読取コード桁数を設定する	50
補足 E. サブコマンド	51
修理依頼書	53

1. はじめに

この度は、弊社 diBar eTicket シリーズ（以下、バーコードリーダー）をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、バーコードリーダーのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているQRコードを読み取ることで、バーコードリーダーの動作や読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源を切にしても設定が消えることはありません。

1.1. 外形寸法と各部名称・働き



記号	名称	働き
A	読取りウィンドウ	QRコードやバーコードを中央部にかざすと、読み取りを行います。エリアメーヅァを搭載しているため、360°の読み取りが可能です。但し、読み取りパフォーマンスは、周囲照度、液晶明るさ、コード品質などに影響を受けます。 出荷時、読取りウィンドウは、透明フィルムで保護されています。剥がしてからご利用ください。
B	ビープ音	ブザー音を発します。
C	ステータス LED	リダステータスを表示します。 青色 LED 常時点灯 電源がで点灯します。読み取り待機中は、点滅します。 赤色 LED 1 回点灯 読み取りに成功すると、1 回点灯します。eTicketX の場合、青色+赤色点灯で、紫色に見えます。 赤色 LED 常時点灯 バーコードリーダーの異常時に、常時点灯します。
D	リセットキー	10 秒間長押しすると、ビープ音鳴動し、ソフトウェア以外のパラメータを初期状態に戻します。また、トリガホックとしても動作します。
E	インターフェイスケーブル	RS232C 又は USB インターフェイスケーブルが付属します。

2. システムマツド

2.1. 工場出荷時デ ィォルト

下記のマトリクスコード をスキャンすることで、工場出荷時のデ ィォルト値にリセツトすることが可能です。



[注意]

元の設定値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

2.2. フォームウェアバージョン

下記のマトリクスコード をスキャンすることで、フォームウェアバージョンを出力することが可能です。



3. TTL232 インターフェイス

下記のマトリクスコードをスキャンすることで、TTL232 インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。



[注意]

元の設置値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

パラメータ	デフォルト値
ポート	115.2Kbps
パリティ	無し
データビット	8ビット
ストップビット	1ビット
フロー制御	無し

3.1. ホール



2400



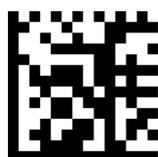
4800



9600



19200



38400



57600



115200

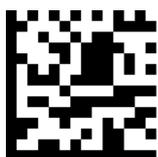
3.2. データビットパリティ/ストップビット



パリティ無し/8データビット/1ストップビット



パリティ無し/7データビット/1ストップビット



パリティ無し/7データビット/2ストップビット



パリティ偶数/8データビット/1ストップビット



パリティ偶数/7データビット/1ストップビット



パリティ偶数/7データビット/2ストップビット



パリティ奇数/8データビット/1ストップビット



パリティ奇数/7データビット/1ストップビット



パリティ奇数/7データビット/2ストップビット

4. USB インターフェイス

4.1. HID POS インターフェイス

下記のマトリクスコードをスキャンすることで、HID POS インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。



4.2. USB キーボード インターフェイス(HID)

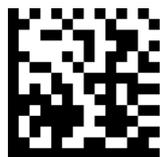
下記のマトリクスコードをスキャンすることで、USB キーボード インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。



[注意]

元の設定値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

国別キートン



USA



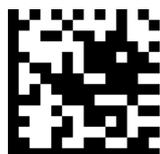
UK



デンマーク



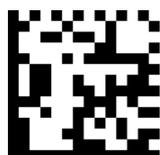
フランス



フィンランド



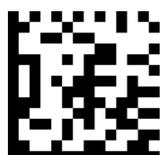
アイスランド



イタリア



ルクセンブルグ



アルバニア



ベルギー



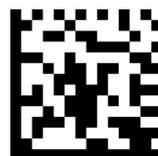
ボスニア



ブラジル



クロアチア



チリ



コスタリカ



エストニア



ドイツ



ギリシャ



ハンガリー



アイルランド



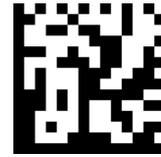
ラトビア



リトアニア



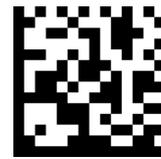
マケドニア



スペイン



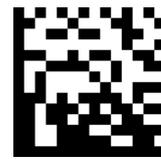
ポーランド



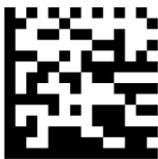
ポルトガル



ルーマニア



ロシア



日本

大文字/小文字変換



変換無し



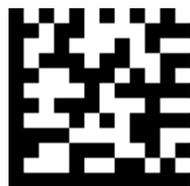
全て大文字に変換



全て小文字に変換

4.3. USB-COM インターフェイス

下記のマトリクスコードをスキャンすることで、USB-COM インターフェイスのデフォルト値にリセットすることが可能です。



[注意]

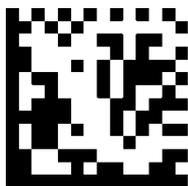
元の設定値に戻すことはできません。スキャンする際は、十分な注意してください。

[参考]

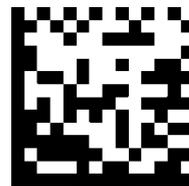
USB-COMドライバは、弊社WEBサイトよりダウンロードをお願いします。

5. 読み取り動作に関するパラメータ

5.1. 反転ビデオモード



有効



無効

5.2. イルミネーション(読み取り照明)



照度 高い



照度 中



照度 低い



イルミネーション無し

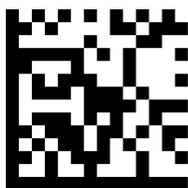


アイドル時照明あり

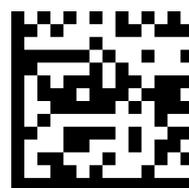


アイドル時照明あり

5.3. グッドリードビーフ

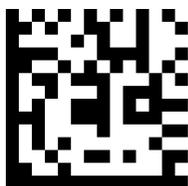


有効

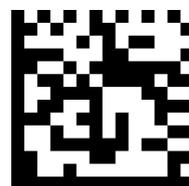


無効

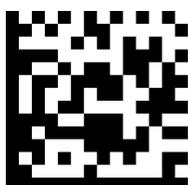
5.4. グッドリードビーフ 音色



低音

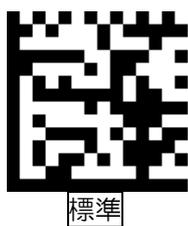


中音

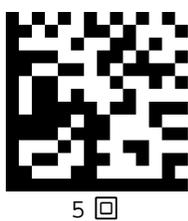
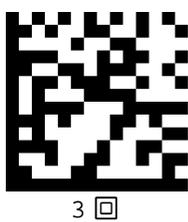
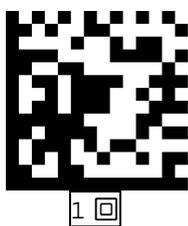


高音

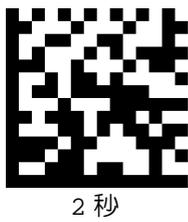
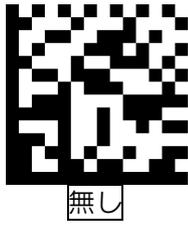
5.5. グッドリードビーブ長



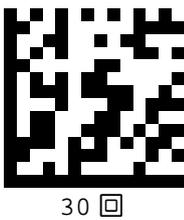
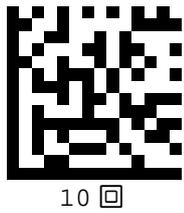
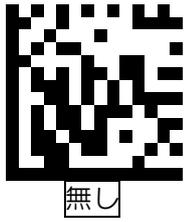
5.6. グッドリードビーブ回数



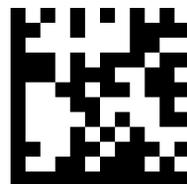
5.7. 読み取り遅延



5.8. 読み取り照合回数



5.9. 画像転送



(*) 現在未対応の機能です。

6. データフォーマット

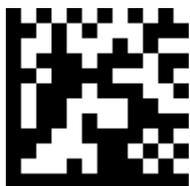
6.1. ターミネータ



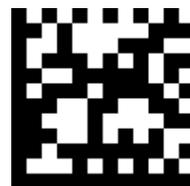
CR



LF



CR/LF

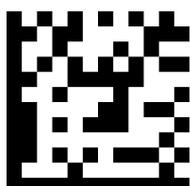


TAB

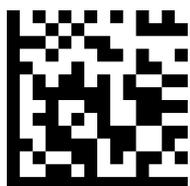
6.2. プリフィックス

「プリフィックス」をスキャンした後、設定したいプリフィックスを 16 進数コード（補足 B. 16 進数コード表を参照）でスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。例えば、「ABC」に設定したい場合は、「プリフィックス」「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」の順でスキャンします。「プリフィックス」をスキャンした後、続けて「9」「9」を必ずスキャンしてください。

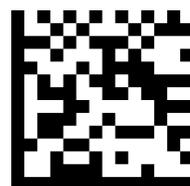
プリフィックスは、最大 xx 桁まで設定可能です。



プリフィックス



確定

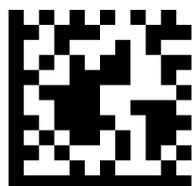


キャンセル

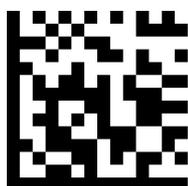
6.3. サフィックス

「サフィックス」をスキャンした後、設定したいプロフィックスを16進数コード（補足B. 16進数コード表を参照）でスキャンし、最後に「確定」をスキャンします。例えば、「ABC」に設定したい場合は、「サフィックス」「9」「9」「4」「1」「4」「2」「4」「3」「確定」の順でスキャンします。「サフィックス」をスキャンした後、続けて「9」「9」を必ずスキャンしてください。

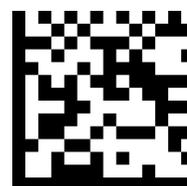
サフィックスは、最大 xx 桁まで設定可能です。



サフィックス

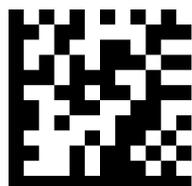


確定



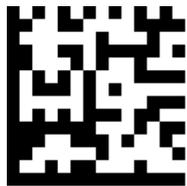
キャンセル

6.4. 全プロフィックス/サフィックス消去



7. 読み取りコード

7.1. 全コード 読み取り



全コード 読み取り
有効



全コード 読み取り
無効

7.2. コード 128

シリアルマシドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルマシドについては、「補足 D. シリアルマシド」を参照ください。



コード 128
デフォルト値にリセット



コード 128 読み取り
有効



コード 128 読み取り
無効

7.3. JAN/EAN-8



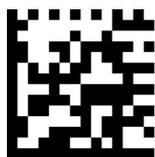
JAN/EAN-8
デフォルト値にリセット



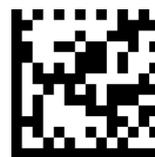
JAN/EAN-8 読み取り
有効



JAN/EAN-8 読み取り
無効



JAN/EAN-8 チックデータ送信
有効



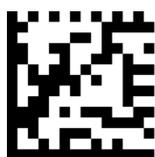
JAN/EAN-8 チックデータ送信
無効



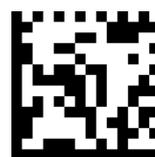
JAN/EAN-8 桁数 2 読み取り
有効



JAN/EAN-8 桁数 2 読み取り
無効



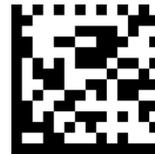
JAN/EAN-8 桁数 5 読み取り
有効



JAN/EAN-8 桁数 5 読み取り
無効



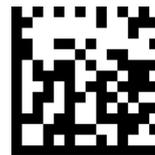
JAN/EAN-8 アト 必須読み取り
有効



JAN/EAN-8 アト 必須読み取り
無効

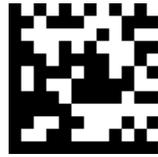


JAN/EAN-8
アト オセハ レタ (ス^ -ス<0x20>) 送信
有効



JAN/EAN-8
アト オセハ レタ (ス^ -ス<0x20>) 送信
無効

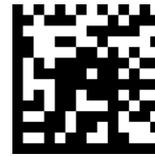
7.4. JAN/EAN-13



JAN/EAN-13
デフォルト値にリセット



JAN/EAN-13 読み取り
有効



JAN/EAN-13 読み取り
無効



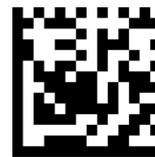
JAN/EAN-13 チケットビット送信
有効



JAN/EAN-13 チケットビット送信
無効



JAN/EAN-13 チケット 2 読み取り
有効



JAN/EAN-13 チケット 2 読み取り
無効



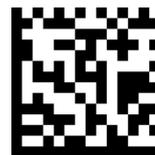
JAN/EAN-13 チケット 5 読み取り
有効



JAN/EAN-13 チケット 5 読み取り
無効



JAN/EAN-13 バーコード必須読み取り
有効



JAN/EAN-13 バーコード必須読み取り
無効



JAN/EAN-13
バーコードデータ(ASCII-20)送信
有効



JAN/EAN-13
バーコードデータ(ASCII-20)送信
無効



JAN/EAN-13 ISBN 変換
有効



JAN/EAN-13 ISBN 変換
無効



定期刊行物・新雑誌コード(491+バーコード5)
有効



定期刊行物・新雑誌コード(491+バーコード5)
無効

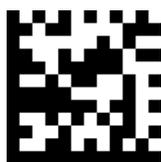


書籍2段 JAN コード(978,192)
有効



書籍2段 JAN コード(978,192)
無効

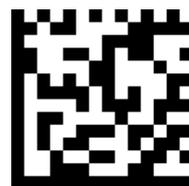
7.5. UPC-E



UPC-E
デフォルト値にリセット



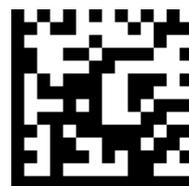
UPC-E0 読み取り
有効



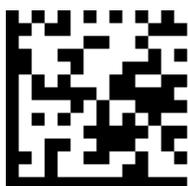
UPC-E0 読み取り
無効



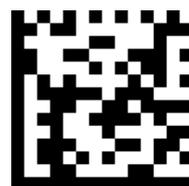
UPC-E1 読み取り
有効



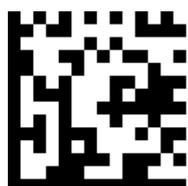
UPC-E1 読み取り
無効



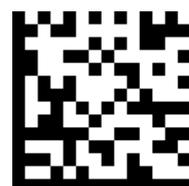
UPC-E0 チップデータ送信
有効



UPC-E0 チップデータ送信
無効



UPC-E0 UPC-A 変換
有効



UPC-E0 UPC-A 変換
無効



UPC-E0 アドバンス 2 読み取り
有効



UPC-E0 アドバンス 2 読み取り
無効



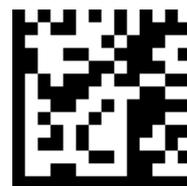
UPC-E0 アドバンス 5 読み取り
有効



UPC-E0 アドバンス 5 読み取り
無効



UPC-E0 アドバンス必須読み取り
有効



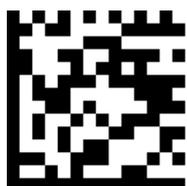
UPC-E0 アドバンス必須読み取り
無効



UPC-E0
アドバンスレタ(アルファ-数字<0x20>)送信
有効



UPC-E0
アドバンスレタ(アルファ-数字<0x20>)送信
無効

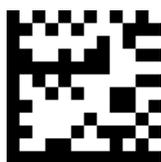


UPC-E0 ナンバーシステム送信
有効

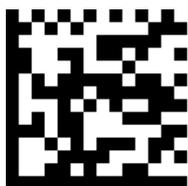


UPC-E0 ナンバーシステム送信
無効

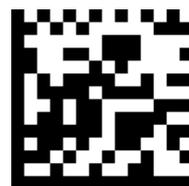
7.6. UPC-A



UPC-A
デフォルト値にセット



UPC-A 読み取り
有効



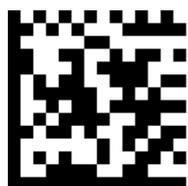
UPC-A 読み取り
無効



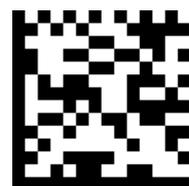
UPC-A チェックデジット送信
有効



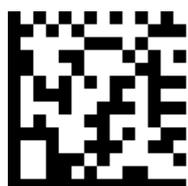
UPC-A チェックデジット送信
無効



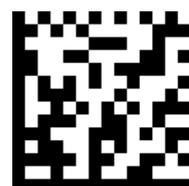
UPC-A 7桁 2 読み取り
有効



UPC-A 7桁 2 読み取り
無効



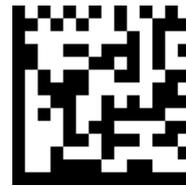
UPC-A 7桁 5 読み取り
有効



UPC-A 7桁 5 読み取り
無効



UPC-A アト 必須読み取り
有効



UPC-A アト 必須読み取り
無効



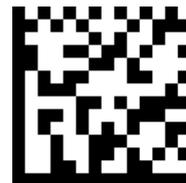
UPC-A
アト オセパ レタ (スハ° -ス<0x20>) 送信
有効



UPC-A
アト オセパ レタ (スハ° -ス<0x20>) 送信
無効



UPC-A ナバ° -システム送信
有効



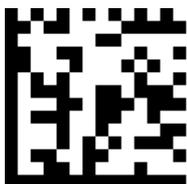
UPC-A ナバ° -システム送信
無効

7.7. インターリーブド 2/5

シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



インターリーブド 2/5
デフォルト値にリセット



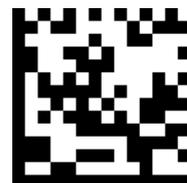
インターリーブド 2/5 読み取り
有効



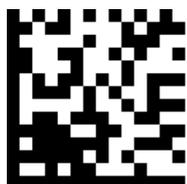
インターリーブド 2/5 読み取り
無効



インターリーブド 2/5
チェックビット検査無し・送信無し



インターリーブド 2/5
チェックビット検査有り・送信有り



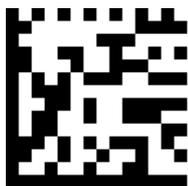
インターリーブド 2/5
チェックビット検査有り・送信無し

7.8. イタ スリアル 2/5

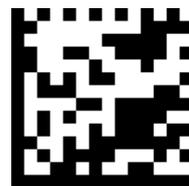
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



イタ スリアル 2/5
デフォルト値にリセット



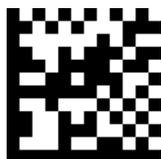
イタ スリアル 2/5 読み取り
有効



イタ スリアル 2/5 読み取り
無効

7.9. コード 39

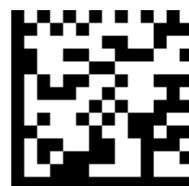
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



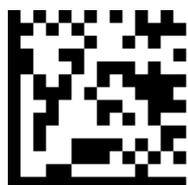
コード 39
デフォルト値にリセット



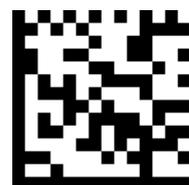
コード 39 読み取り
有効



コード 39 読み取り
無効



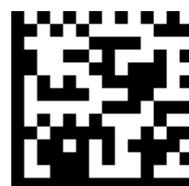
コード 39 パリティ読み取り
有効



コード 39 パリティ読み取り
無効



コード 39 スタート/ストップ
キャラクタ送信
有効

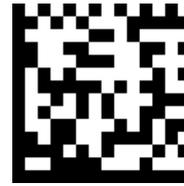


コード 39 スタート/ストップ
キャラクタ送信
無効



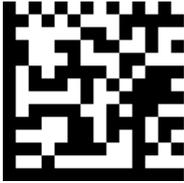
コード 39

チケットシート検査無し・送信無し



コード 39

チケットシート検査有り・送信有り



コード 39

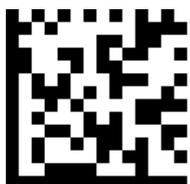
チケットシート検査有り・送信無し

7.10. コーダバー(NW7)

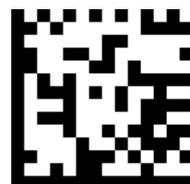
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



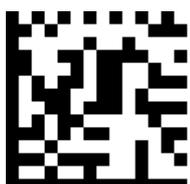
コーダバー(NW7)
デフォルト値にリセット



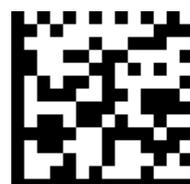
コーダバー(NW7)読み取り
有効



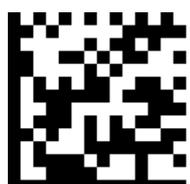
コーダバー(NW7)読み取り
無効



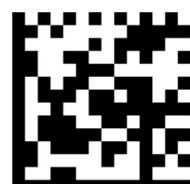
コーダバー(NW7)スタート/ストップ
キャラクタ送信
有効



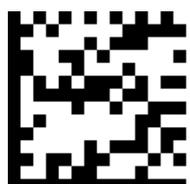
コーダバー(NW7)スタート/ストップ
キャラクタ送信
無効



コーダバー(NW7)
チェックビット検査無し・送信無し



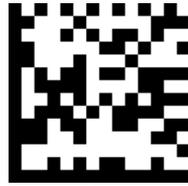
コーダバー(NW7)
チェックビット検査有り・送信有り



コーダバー(NW7)
チェックビット検査有り・送信無し

7.11. コード 93

シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



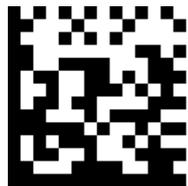
コード 93
デフォルト値にリセット



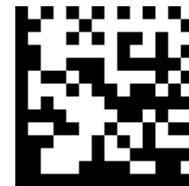
コード 93 読み取り
有効



コード 93 読み取り
無効



コード 93 連結
有効



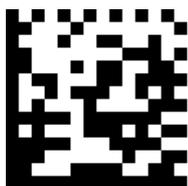
コード 93 連結
無効

7.12. GS1-128

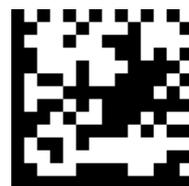
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



GS1-128
デフォルト値にリセット



GS1-128 読み取り
有効



GS1-128 読み取り
無効

7.12. MSI

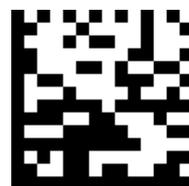
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



MSI
デフォルト値にリセット



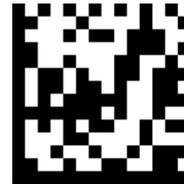
MSI 読み取り
有効



MSI 読み取り
無効



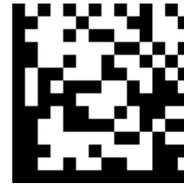
MSI チケットビット(タイプ 10)検査有り・送信有り



MSI チケットビット(タイプ 10&11)検査有り・送信有り



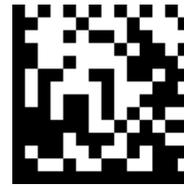
MSI チケットビット(タイプ 10&11)検査有り・送信無し



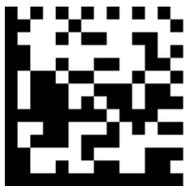
MSI チケットビット(タイプ 10)検査有り・送信無し



MSI チケットビット(タイプ 10x2)検査有り・送信無し



MSI チケットビット(タイプ 10x2)検査有り・送信有り



MSI チケットビット検査無し

7.14. PDF417

シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



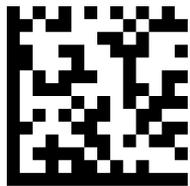
PDF417
デフォルト値にリセット



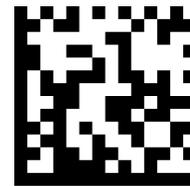
PDF417 読み取り
有効



PDF417 読み取り
無効



microPDF417 読み取り
有効



microPDF417 読み取り
無効

7.15. QR コード

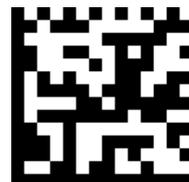
シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



QR コード
デフォルト値にリセット



QR コード 読み取り
有効



QR コード 読み取り
無効



QR コード 連結
有効



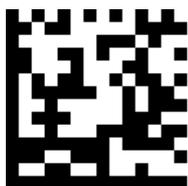
QR コード 連結
無効

7.16. Data Matrix

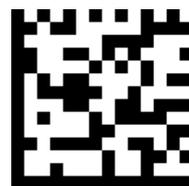
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



Data Matrix
デフォルト値にリセット



Data Matrix 読み取り
有効



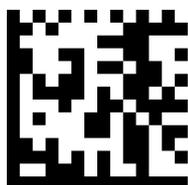
Data Matrix 読み取り
無効

7.17. Maxi コード

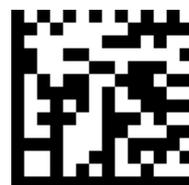
シリアルコマンドを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコマンドについては、「補足 D. シリアルコマンド」を参照ください。



Maxi コード
デフォルト値にリセット



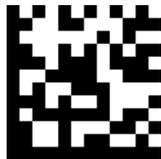
Maxi コード 読み取り
有効



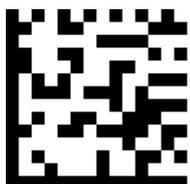
Maxi コード 読み取り
無効

7.18. Aztec コード

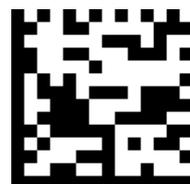
シリアルコードを使用することで、最大及び最小読み取り桁数の設定が行えます。シリアルコードについては、「補足 D. シリアルコード」を参照ください。



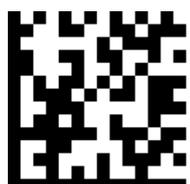
Aztec コード
デフォルト値にリセット



Aztec コード 読み取り
有効



Aztec コード 読み取り
無効



Aztec コード 連結
有効



Aztec コード 連結
無効

補足 A. ASCII コード 表

ASCII コード 表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(8	H	X	h	x	
9	HT	EM)	9	I	Y	l	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

補足 B. 16 進数コード表



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



A



B



C



D

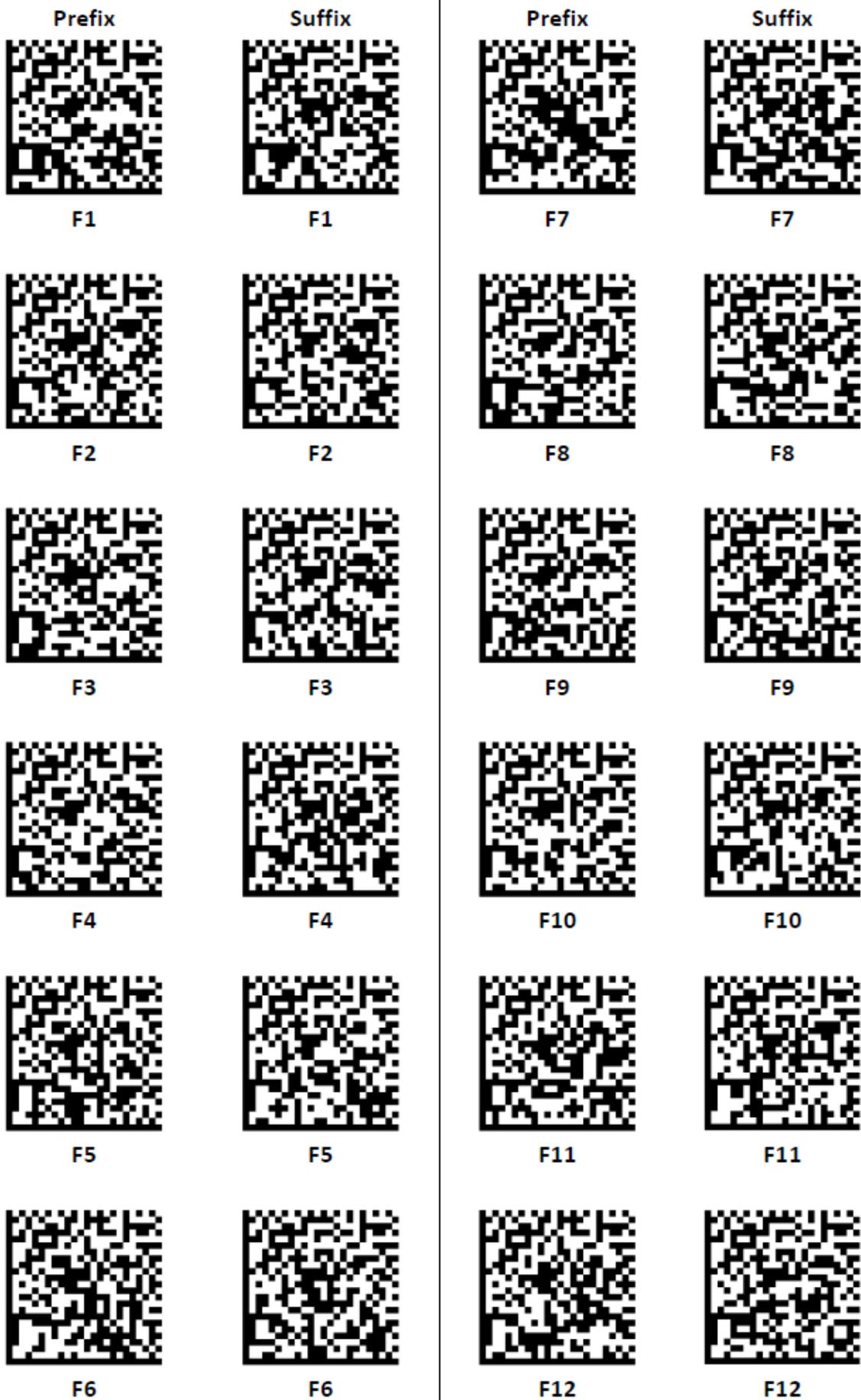


E



F

補足 C. プリフィックス/サフィックス用ファンクションキー





補足 D. 読取コード桁数を設定する

コードタイプ	最小桁数	コード	最大桁数	コード	コードフォーマット
コード 128	0	020A02	90	020A03	Min: 020A02xx Max: 020A03xx
インターコード 2/5	2	020403	80	020404	Min: 020403xx Max: 020404xx
マトリクス 2/5	1	020802	80	020803	Min: 020802xx Max: 020803xx
インターコード 2/5	1	020602	48	020603	Min: 020602xx Max: 020603xx
コード 39	0	020307	48	020308	Min: 020307xx Max: 020308xx
コードバ - (NW7)	2	020205	60	020206	Min: 020205xx Max: 020206xx
コード 93	0	020D02	80	020D03	Min: 020D02xx Max: 020D03xx
GS1-128	0	020B02	80	020B03	Min: 020B02xx Max: 020B03xx
MSI	4	020E03	48	020E04	Min: 020E03xx Max: 020E04xx
PDF417	1	021F05	2750	021F06	Min: 021F05xx Max: 021F06xxxx
QRコード	1	023702	7089	023703	Min: 023702xx Max: 023703xxxx
Data Matrix	1	023602	3116	023603	Min: 023602xx Max: 023603xxxx
Maxiコード	1	023402	150	023403	Min: 013402xx Max: 023403xxxx
Aztec	1	023305	3832	023306	Min: 023305xx Max: 023306xxxx
Hanxin	1	023802	7833	023803	Min: 023802xx Max: 023803xxxx

[注意]

x には、最小・最大桁数を指定します。指定する桁数が xx の数に満たない場合は、0 で補てんしてください。

例：QRコード 最小桁数 5 桁、最大桁数 10 桁の場合

```

最小桁数      :      02370205
最大桁数      :      0237030010

```

コードフォーマット例 ①

QRコード 最小桁数 5 桁			
ファイル	ヘッダ	コード	ターミネータ
ASCII	STX 0xF0 ETX	02370205	.
HEX	0x02 0xF0 0x03	0x30 0x32 0x33 0x37 0x30 0x32 0x30 0x35	0x2E

コードフォーマット例 ②

QRコード 最大桁数 10 桁			
ファイル	ヘッダ	コード	ターミネータ
ASCII	STX 0xF0 ETX	0237030010	.
HEX	0x02 0xF0 0x03	0x30 0x32 0x33 0x37 0x30 0x32 0x30 0x30 0x30 0x31 0x30	0x2E

設定方法

1. 上記コードを、シリアルコードとしてリーダーに送信します。シリアルコード受信するとリーダーは、下記の応答を行います。

```

肯定応答      :      <ACK>. (0x06 0x2E)
否定応答      :      <NAK>. (0x21 0x2E)

```

2. 上記コードを Data Matrix コードでエンコードし、そのコードをリーダーで読み取ることで設定を行うこともできます。但し、専用 Data Matrix コードを生成する必要がありますので、弊社までご依頼ください。必要な設定コードを作成し、ご提供させていただきます。

補足 E. サンプルコード

コード 39



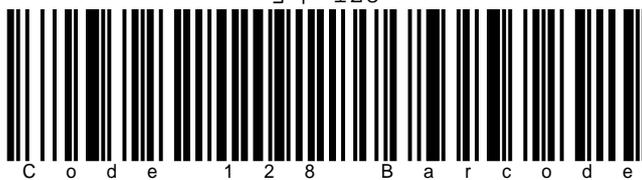
JAN-13



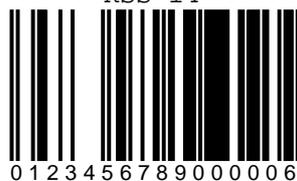
インタープット 2/5 (ITF)



コード 128



RSS-14



PDF417



PDF417 Sample

データマトリクス



DataMatrix

Aztec



Aztec

QR (モデル 2)



QR CODE MODEL 2

反転 QR (モデル 2)



QR Nega

